

令和5年度 鹿沼ケーブルテレビ放送番組審議委員会

議事録

<日時> 令和6年2月22日(木) 12時00分～13時30分

<場所> 鹿沼商工会議所 特別会議室

<放送番組審議委員 出席者> 7名

鈴木貢	会長	鹿沼文化協会会長
青木孝雄	副会長	J Aかみつが代表理事組合長
佐藤信	委員	鹿沼市長
谷中恵子	委員	鹿沼市議会議長
小林俊明	委員	鹿沼市自治会連合会会長
斎藤陽子	委員	栃木県社会教育委員協議会会長
高橋真樹	代理出席	鹿沼商工会議所事務局長

<鹿沼ケーブルテレビ株式会社 出席者> 3名

田濤広行	代表取締役社長
野口重彦	統括本部長
高田了輔	放送部課長

<議案書作成> 1名

鹿沼ケーブルテレビ放送番組審議会 事務局
高田了輔 放送部課長

1. 開会
2. 鹿沼ケーブルテレビ株式会社 代表取締役社長挨拶
3. 放送番組審議会 会長挨拶
4. 放送番組審議会委員 紹介
5. 議事

<議事内容>

(1) 報告事項

① 令和5年度「かぬまチャンネル」に関する報告

1. 加入状況について
2. 「かぬまチャンネル」番組編成について
3. 主な番組について

(委員)

鹿沼ケーブルテレビの地域情報アプリで火災情報をよく見ているが、外に出掛けている時に家の近くかどうかははっきり分かるので大変便利。

(CATV)

火災情報については、消防署からの情報が自動で展開されるようになっている。
データ放送では火災情報は文字と合わせて音声情報が流れるようになっている。
またアプリの場合、プッシュ通知でお知らせされるようになっている。

② 令和5年度の主な自主放送雄設備改修に関する報告

1. 「おくやみ情報」送出サーバーの老朽化に伴う、設備更改

③ 令和5年度の主な取り組み

1. 動画配信サービス「ミルシカ」のサービス開始

報告事項について、鹿沼ケーブルテレビ統括本部長の野口、及び放送課長の高田より資料に基づき説明があり、質問に対しては上記の通り返答をした。

(2) 協議事項

① 「かぬまチャンネル」へのご意見・ご要望

(委員)

70代くらいの人と話すと、「非常に家に居る時間が長い」と言う人がテレビで「コミュニティチャンネルを見ている」と言う。そういう年代をいかに取り込むか、視聴率を上げる年代層がどこなのかというのもポイントではないか。

シニアには落ち着いて見たいという人が多いので、文字も画面も大きいのが良い。

(CATV)

高齢者へのサービス展開が一番重要になってくると思うので、十分意識しながら番組を作っていきたい。

(委員)

J Aでは学童野球のほかに高齢者のグラウンドゴルフもやっている。そういうのを中心に撮って放送案内すれば視聴率も上がるのではないか。

(委 員)

市外でのイベントを撮ったものをケーブルテレビに持ち込んで、編集、放送してもらおうということではできるのか。

(CATV)

以前JAでの実績がある。撮影の内容にもよるが対応はできる。

(委 員)

誰かを特派員と言う形で常に何か情報があったら撮影してケーブルテレビに提供するという形が可能なら、もっと取材が広がると思う。

(CATV)

ぜひご協力いただければありがたい。

(委 員)

あまり普及率が上がっているとは自分の地域では思えない。

(CATV)

普及率に関しては、市街地のお客様をどう取り込んでいくかが一番の課題になっている。

(委 員)

お年寄りの世代だと、小学校などでの孫の姿を見たがっており、ケーブルテレビで放送されることに喜びの声がある。小中学校では放送を認めない人もいるので難しいが、やはり子ども達を撮影放送することが、お年寄りをはじめとした普及率アップになると思う。

(CATV)

「子ども」「お年寄り」というのが鍵になってくると思うので、力を入れてご加入いただけるように頑張っていきたい。なお今年度新たに少年野球大会の冠を取らせていただいている。

(委 員)

テレビの配線が自分でできず、夜間だったがケーブルテレビに電話をしてみたところ、凄く丁寧教えてもらえ自分で配線ができた。夜間の緊急のときの対応は本当にありがたい。

(CATV)

夜間の問合せは外部の会社に繋いで一次対応してもらっている。今後も詳しい対応ができるよう話を進めていきたい。

(委 員)

子ども達にとっては自分の映像を見ることはすごく魅力的でそれが励みになる。メディアの目に見えない社会教育になっていると思う。その地区で頑張っている人が映像に出ることは子どもでも大人でも、自分が汗をかいた結果が出る訳だから本当に楽しいし嬉しい。

普及率はあと50%、なかなか100%は難しいだろうけれども、東側、南側の方が減っていると思うので頑張してほしい。

(CATV)

委員のおっしゃる通り普及率は50%を超えないといけない。市民の半分以上に見られていることが評価されるラインと考えている。

(委 員)

いつ放送するかをきちんと伝えないと見そびれてしまうから、すぐ確認できるようになるとありがたい。

ケーブルテレビの取材は、私達が気づきにくい部分も撮ってくれていて驚いている。取材されてテレビで見ることは、子ども達の次へのモチベーションに繋がっているのでぜひ継続してほしい。

「ミルシカ」のような新しいサービスを口コミで広めることも大事だと思っている。

(CATV)

「ミルシカ」については、地域情報アプリに合わせて今後も周知していきたいと考えている。ぜひケーブルテレビがやっていることを口コミでも伝えていただきたい。

(委 員)

市内の事業所はどこも人手不足で困っている。素晴らしい仕事をしている事業所がたくさんあるがそこを皆さん知らない。情報を発信したくてもなかなか届けたいところに届かず一番効果がある媒体が見つからないが、ケーブルテレビのようなメディアや番組を使ってそういう企業を紹介することも必要かなと個人的に感じている。

(CATV)

栃木県から県外に進学した人で戻ってくるのは約 10%という話がある。多くが向こうで就職してしまうが、やはり鹿沼の企業の魅力を知らないというところが大きいのだと思う。凄い会社があるということを伝えるのも我々の仕事というふうに改めて感じた。

(委 員)

どこも人がいないので特定の企業だけ取り上げるのは難しいと思うが、若い人に知ってもらって就職の選択肢に入れてもらうというのは非常にいいことだと思う。

以上